

よくとぶ紙ひ行きを作ろう パート②

合志市立西合志東小学校 3年 中原 佳音

1 しらべようと思ったわけ

去年よく飛ぶ紙ひ行きをけんきゅうしてきて、画用紙で作るのが一番ちょうどいいことが分かった。今年は、画用紙をつかってもっといろいろな方ほうでやってみたいと思った。

2 しらべる方ほう

- (1) 紙の大きさをかえる。
- (2) クリップをつけて、びみょうに重さをかえる。
- (3) とばすときにねらう場所をかえる。
- (4) とばしはじめる高さをかえる。
- (5) 先を曲げる。
- (6) 羽を大きくする。

3 しらべたけっか

- (1) 紙の大きさをかえる。

大（画よう紙1枚） 中（画よう紙半分） 小（画よう紙半分の半分）

	大	中	小
1	4m70cm	3m55cm	4m85cm
2	3m	5m25cm	5m45cm
3	8m45cm	5m40cm	4m30cm
4	11m10cm	6m	6m15cm
5	6m35cm	6m10cm	6m20cm

紙ひ行きをおる紙が大きければ大きいほど、よく飛ぶことが分かった。紙が重いからだと思う。



- (1)ー2 紙をかさねて、大と同じおもさの中や小を作る。

	中	小
1	4m70cm	4m10cm
2	5m80cm	4m20cm
3	3m55cm	3m35cm
4	7m95cm	3m90cm
5	6m	3m80cm

おもさを同じにしたけど、羽の広さが大より小さいから、飛ばなかった。おもさだけじゃなくて、羽の広さや大きさも大じだと思った。



（以下、結果中略）

4 まとめ

- (1) さいしょは重い方がよくとぶんじゃないかと思ったけど、重さだけじゃなくて羽の広さや大きさも必要なんだと分かった。
- (2) クリップをどこに何こつけてもとばなくなった。画用紙1まい分の重さが一番ちょうどいいと分かった。
- (3) ねらう場所が体育館の天井とかべのさかい目の時が一番よくとんだ。紙ひ行きの向きが少し上に向いているからよくとんだと思う。
- (4) きゃ立がない方がよくとんだ。上のだんにいくほどかく度がひくくなっているからとばなくなるんだと思う。上のだんからもっと上にむけてとばすともっととぶかもしれない。
- (5) 紙ひ行きの先をまげない方がよくとんだ。先をおもくするととばなくなると分かった。
- (6) 羽をつけて広くすると、とばなくなった。羽がおもすぎてまっすぐとばなくなってしまった。
- (7) 紙ひ行きは、何もつけずに、地面から、すこし上をねらってとばすと一番よくとぶと分かった。